

メイアクラス

MEIAQUAS SSD-350P

MEIDEN

Quality connecting the next

近赤外光式汚泥濃度計

バイパス配管が不要で保守ができる



近赤外光式汚泥濃度計

メイアックス
MEIAQUAS SSD-350P



本計器はパイプラインに挿入し、汚泥濃度(SS)を測定するものです。光学式のため微細気泡の影響を受けにくい汚泥濃度計です。
また、光源には近赤外発光ダイオードを使用しているため、光源切れの心配がほとんどありません。
返送汚泥濃度、送泥濃度などの計測に最適です。

※SSD-350Pは形式名

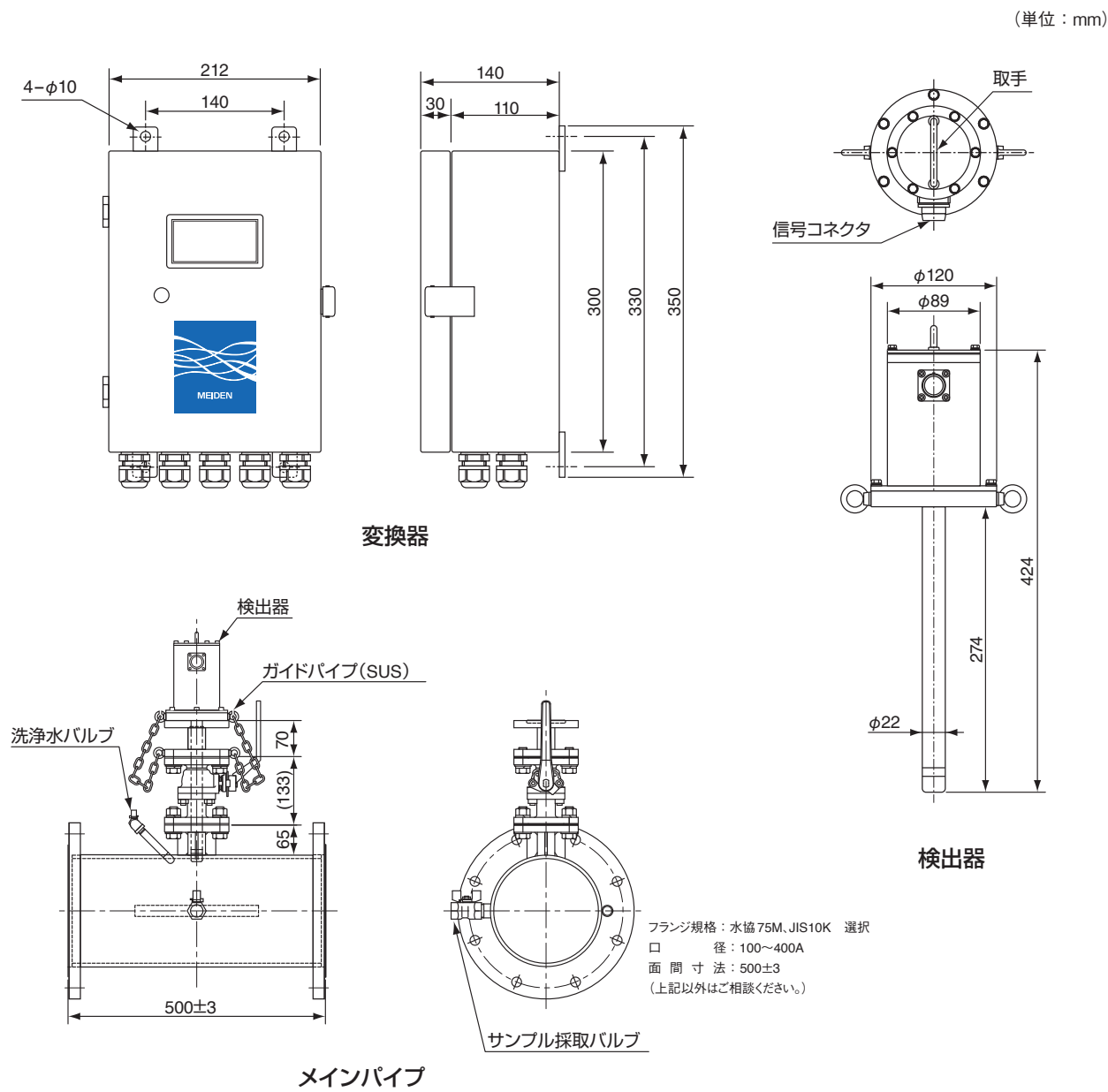
特長

- 特殊演算法の採用により、汚泥色の影響を受けにくくなっています。
 - 近赤外光の採用により、溶液色の影響を受けにくくなっています。
また、同理由により、緑色藻類が検出面に付着することはありません。
 - 流通時の微細気泡の影響をほとんど受けません。
 - バイパス管など余分な配管は必要ありません。
 - 検出器の脱着が可能なので、検出面の洗浄が簡単にでき精度管理が容易です。
 - 自己診断機能内蔵により、機器の状態が把握できます。
 - 校正データの入力法として、ゼロ・スパン入力法、回帰式自動算出法、折線近似法から選択することができます。
 - 種々のパラメータの変更ができます。
 - データの入力は対話方式で、日本語表示を採用しているため簡単に行えます。
 - 変換器と検出器間はデジタル通信のため、ノイズの影響を受けにくくなっています。
- ※消化汚泥などで、その色が濃いもの(墨色)については、事前にサンプルテストを実施させて頂く場合があります。

主な仕様

形 式	SSD-350P		
測定対象	配管内の汚泥濃度(SS)		
測定方式	散乱光式		
最大目盛	1～5% (0.5%ごとに設定可能)		
繰り返し性	±2%FS以内		
直線性	±2%以内 (但し、0～3%未満は折線近似処理使用時)		
測定液温度	0～50℃ (但し、凍結しないこと)		
周囲環境条件	温度：-10～50℃ 湿度：90%RH以下		
伝送出力	DC4～20mA (最大負荷抵抗600Ω 絶縁出力)		
接点出力	種別	上下限警報、保守中、計器異常	
	容量	AC100V 0.5A	
変換器電源		AC100V±10% 50/60Hz 単相 約20VA	
質 量	変換器	約6kg	
	検出器	約3kg	

外形図



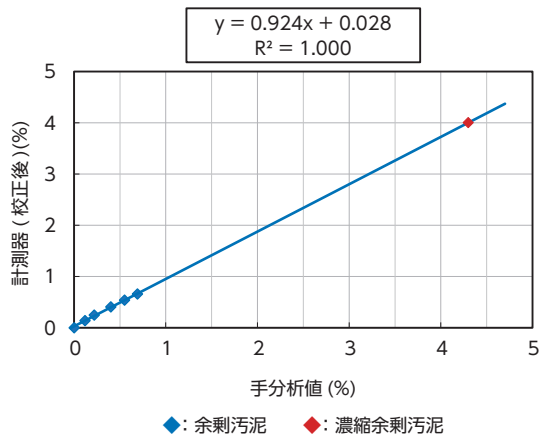
測定例



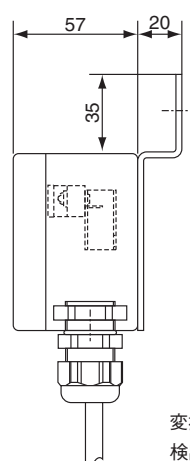
余剰汚泥



濃縮余剰汚泥



■ ジャンクションボックス



変換器、検出器間の距離が長い場合、
検出器近傍に取り付けて、信号ケーブルを接続します。

■ 設置上の注意事項

-
- Diagram illustrating a corner manometer setup. The manometer is positioned in a corner with a 1.5m radius. The vertical clearance from the ground to the top of the manometer is 1.5m. The manometer is tilted at an angle θ from the horizontal. The horizontal distance from the corner to the manometer is 1.5m. The manometer has a circular face with a central needle and a sampling port labeled "サンプル採取バルブからサンプリングできるスペース" (Sampling space from the sampling valve).

■ご購入にあたって

- JE52-3359A** 2023年11月現在
2023-11ME(0.8L)0.7L